

『私の高校生活』

日野高等学校 1年 市田 紗菜

4月に日野高校に入学してから半年以上が過ぎました。高校は初めてのことばかりで、最初は不安なことがたくさんありましたが、今は楽しく充実した学校生活を送っています。今日は、大きく2つに分けて私が高校に入学して考えたことや感じたことをお話しします。

まずは、私の学校生活を支えてくれている友人たちです。今は仲の良い友人と楽しく過ごしていますが、友人との関係は私が入学後、一番悩んだことです。私が通っていた中学校は学校の規模が小さく、生徒数も少なかったため、クラスは学年に1クラスしかありませんでした。コロナ渦で、友達と自由に話すことも制限されていた生活が続けていたので、新しく人間関係を作るのは3年ぶり、一からスタートする仲間づくりの方法がわからなくなっていました。私自身、人見知りのことや、同じ中学校から日野高校に行く友人が少ないこともあり、友達ができるか、自分から話しかけられるかという不安で押しつぶされそうでした。ですが、自分で自分を勇気づけて、新しい友達をたくさん作ると心に決め、入学式を迎えました。

入学式の朝、教室へ向かっていると、廊下のあちらこちらで話している人がたくさんで、もうすでに自分がおいて行かれているのではないかと焦った気持ちで冷や汗がでてきました。高校生にとって、最初の友達作りほど重要なことはありません。ここが勝負なのです。入学式の間も、終わってからも、ずっと緊張していて、もう自分には友達ができないのではないかと、どうしたらいいのかと、今から考えると考えすぎだと突っ込みたくなるほど頭がぐるぐる回っていました。自分では話しかけられそうにないし、私の高校生活おわった・・・と絶望のどん底にいたとき、近くにいた人が「どこ中学校？」と話しかけてくれました。その時のことは忘れられません。その後もいろいろなことを話すことができ、高校生活初めての友達ができました。その反面、自分で行動できなかったことに後悔の気持ちもありました。その友人には新しい環境で生活していく第一歩を教えてもらったような気がしています。それでも入学したての頃は、まだまだ緊張はとれず、頭ではわかっているのに、うまく話せなかったり、何を話したらいいのか思い浮かばず苦労する日々が続きました。そんな中でクラスのみんなと仲を深められたのは校外学習と体育祭です。

校外学習は奈良県の生駒山麓公園でカレー作りを行いました。当日は天候にも恵まれ、事前に決めた役割分担で、班のみんなと協力してカレーを作ることができました。事前の話し合いでは自分の意見を言ったりすることができませんでしたが、当日は本当に楽しく、初めて自分の素を見せて過ごせた気がします。

普段家で食べるカレーもおいしいですが、この日に作ったカレーは格別でした。この校外学習をきっかけに、初めて話す人もいましたし、クラスを超えて交流することができました。

体育祭は7月に行われました。入学から3か月たったころで、そろそろクラスのグループも固まりつつあってクラスでの交流は減ってきていたと思います。そんな中、体育祭はクラスで団結して活動することも多く、普段あまり話さないクラスメートとも一緒に過ごすことでクラスの絆が深まったと思います。日野高校の体育祭は学年縦割りの団対抗で行われるのですが、私は団に飾るバックの絵を担当しました。仲の良いメンバーで毎日楽しく活動しました。先輩方に教えてもらって、一緒に活動したりしましたが、高校生っぽいことをしている実感があって、ちょっと大人になった気がしました。体育祭の当日も、同級生や先輩方とびっくりするくらいの量の写真を撮って、思い出を作ることができました。

校外学習や体育祭などの行事はもちろん、毎日何気ない時間を友人と過ごすことで、本当に楽しい学校生活を送ることができています。かけがえのない友人と出会うことができてうれしく思っています。

私の学校生活を支えているもうひとつの柱が、部活動です。私はバドミントン部に所属しています。中学校の頃からバドミントンをしていて、ダブルスでしか大会に出たことがありませんでした。高校の部活に入って、初めてシングルスに挑戦しています。5月に行われた初めての春季大会は相手が強く思うような試合ができず、点差が開く一方で恥ずかしい思いをしました。その悔しさをばねに、夏の暑い期間中、フットワークやノック練習に力を入れました。するとその後の新人大会では粘り強いプレーをすることができ、自分の成長を感じることができました。さらなる成長を目指して練習に励みたいと思います。

不安ばかりで始まった高校生活でしたが、今では本当に充実した毎日を送っています。もちろん悩むこともありますが、それ以上に得るものが大きくこの先の高校生活も楽しみでたまりません。1年生の経験を2年・3年と生かして積み重ねていけるように、これからも時間を大切に、楽しい毎日を過ごしていきたいと思います。